

教科	介護総合演習	学科・学年	教養福祉科・1年	単位数	1単位
学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。				
使用教科書・副教材	「新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」(中央法規) 「実技試験のチェックポイント2016」(中央法規)				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考え、自分の考えを表現できる。</p> <p>【技能】 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーション技術を身に付け、実践できる。</p> <p>【知識・理解】 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p>				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	必要事項をノートに書き込む。実技の際は、実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行う、実習記録を提出すること。				
学 期	項 目		学習のねらい		
1 学期	校内オリエンテーション 介護実習事前学習		<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習の意義と目的、3年間の介護実習の流れ・実習心得を理解する。 ・デイサービスセンターについて理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法・コミュニケーション技法を身に付ける。 		
2 学期	介護実習事後学習	介護実習事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・8・9月の実習について、レポートの作成・記録の整理・反省と課題の明確化などを行い、デイサービスセンター実習でのまとめを行い、次の実習に活用する。 ・10月の実習に向けて、記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法を確認し、デイサービスセンター実習の準備をする。 ・レポート作成・記録整理・反省を行い、各自の課題を明確にする。また、評価を通してデイサービスセンター実習のまとめを行い、次回の実習に活用する。 ・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、デイサービスセンターの現状と課題について考える。 		
		介護実習事後学習			
		実習報告会			
3 学期	介護実習事前学習	介護実習事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの役割を理解する。 ・記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法を確認し、グループホーム実習の準備をする。 ・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通してのグループホーム実習のまとめを行い、現状と課題について考える。 		

教科	介護総合演習	学科・学年	教養福祉科・2年	単位数	1単位
学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。				
使用教科書・副教材	「新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」(中央法規) 「実技試験のチェックポイント2015」(中央法規)				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考え、自分の考えを表現できる。</p> <p>【技能】 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーション技術を身に付け、実践できる。</p> <p>【知識・理解】 実習施設の役割、実習心得、介護技術の基本を理解している。</p>				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	必要事項をノートに書き込む。実技の際は、実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行う、実習記録を提出すること。				
学 期	項 目		学習のねらい		
1 学期	校内オリエンテーション 介護実習事前指導		<ul style="list-style-type: none"> ・2学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。 ・介護老人福祉施設、介護老人保健施設について理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法、基本的な介護技術、コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。 		
2 学期	介護実習事後学習 実習報告会 介護実習事前学習		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成、記録の整理、反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。 ・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。 ・居宅サービスの役割と意義を理解する。 ・記録の書き方、観察の技法、基本的な介護技術の確認を行い、訪問介護同行訪問実習の準備をする。 		
3 学期	介護実習事後学習 介護実習事前学習 介護実習事後学習		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成、記録の整理、反省と課題の明確化、評価を通して在宅福祉のまとめを行う。 ・障害者施設の役割と介護者の視点を理解する。 ・記録の書き方、観察の技法、コミュニケーション技法を確認し、障害者施設実習の準備をする。 ・レポート作成、記録の整理、反省と課題の明確化、評価を通しての障害者施設実習のまとめを行い、現状と課題について考える。 		

教科	介護総合演習	学科・学年	教養福祉科・3年	単位数	1単位
学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。				
使用教科書・副教材	「新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」(中央法規) 「実技試験のチェックポイント2014」(中央法規)				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考え、自分の考えを表現できる。</p> <p>【技能】 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーション技術を身に付け、実践できる。</p> <p>【知識・理解】 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p>				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	必要事項をノートに書き込む。実技の際は、実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行う、実習記録を提出すること。				
学 期	項 目		学習のねらい		
1 学期	校内オリエンテーション 介護実習事前学習		<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習Ⅱの意義と目的、実習の流れを理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方、個別援助計画の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。 ・記録の書き方や内容が十分であるか確認する。 ・介護に必要な情報が収集できている。 ・利用者とは職種とともに介護計画が立案できている。 ・利用者の状況に応じた介護が実践できる。 		
	介護実習中間学習				
2 学期	介護実習事後学習		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行う。 		
	実習報告会		<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。 		
3 学期	事例研究		<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究の意義について理解し、テーマを設定する。 ・事例研究を意識した実習の進め方を理解し、考察を行う。 ・事例研究についてまとめ、発表する。 		